

# 鳥獣被害防止総合対策交付金

【令和7年度予算額 9,900 (9,900) 百万円】  
【令和6年度補正予算額 5,300百万円】

## <対策のポイント>

農作物被害のみならず農山漁村での生活に影響を与える鳥獣被害の防止のため、**鳥獣の捕獲等の強化**や**ジビエ利活用拡大**への取組等を支援します。

## <事業目標>

- 農作物被害を及ぼすシカ、イノシシの生息頭数を平成23年度から半減（約215万頭【令和10年度まで】）
- 野生鳥獣のジビエ利用量を令和元年度から倍増（4,000t【令和7年度まで】）

## <事業の内容>

## <事業イメージ>

〔総合的な鳥獣対策・ジビエ利活用拡大への支援〕



### 〔捕獲等の強化〕

- ① **スマート鳥獣害対策の推進**  
ICT等を総動員し被害対策を実施するモデル地区を整備し、優良事例の創出と横展開を推進



- ② **シカ、クマの捕獲対策の強化**【令和6年度補正予算含む】  
被害要因、生息状況等に基づいたシカ、クマの捕獲対策に係る総合的な取組を支援



- ③ **高度な鳥獣被害対策人材の育成・確保**  
地域の実情を踏まえた対策の実施が図られるよう、鳥獣被害対策を主導する人材の育成・確保を支援

### 〔ジビエ利活用拡大に向けた取組〕

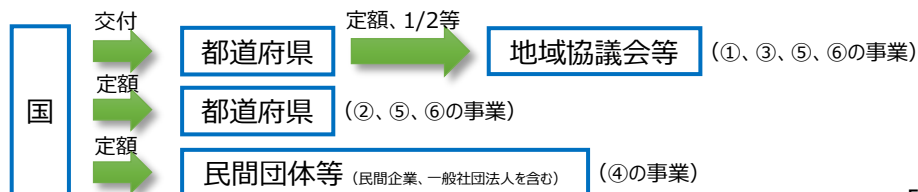
- ① **ジビエハットフード等によるジビエ利用の拡大**  
安全なハットフード原料の供給や、捕獲鳥獣の処理加工施設への搬入拡大に向けた取組を推進  
【令和6年度補正予算含む】



- ② **ジビエの情報発信強化**【令和6年度補正予算】  
ジビエ利活用の更なる拡大に向けたコンテンツ等の展示を通じた情報発信の強化



## <事業の流れ>



【お問い合わせ先】 農村振興局鳥獣対策・農村環境課 (03-3591-4958)

# 鳥獣の侵入を防ぐために柵を整備したい！

獣種に応じた侵入防止柵を選択するとともに、設置場所の地形（傾斜及び高低）を踏まえ、柵のつなぎ目や地面との間に隙間が発生しないようにすることが重要です。また、個々のほ場を囲うのではなく、広域的に囲うなど効率的・効果的な整備の実施に加え、設置後は、生息環境管理の実施を含めた地域ぐるみでの維持・管理を続けることも重要です。

## （１）支援内容

侵入防止柵の整備は「新規整備」と「再編整備」が可能です。その施工方法は「直営施工」か「請負施工」の２パターンがあります。なお、侵入防止柵を整備する場合は、捕獲機材（わな）等を一体的に設置することや生息環境管理の実施、適切な維持管理等が要件となります。

### － 新規整備の上限単価 －

## （２）補助率

- ・ 直営施工の場合  
定額（資材費のみ支援対象）
- ・ 請負施工の場合  
事業総額の 1 / 2 以内等

|    | 電気柵<br>(1段あたり) | ネット柵     | 金網柵<br>上段：イノシシ用<br>下段：シカ用 | ワイヤーメッシュ柵<br>上段：イノシシ用<br>下段：シカ用 | グレーチング                |
|----|----------------|----------|---------------------------|---------------------------------|-----------------------|
| 直営 | 148円/m         | 1,090円/m | 1,970円/m<br>2,790円/m      | 1,290円/m<br>1,950円/m            | 17.7万円/m <sup>2</sup> |
| 請負 | 391円/m         | 2,600円/m | 5,380円/m<br>7,620円/m      | 3,000円/m<br>4,530円/m            | 事業総額の<br>1 / 2 以内     |

### 【侵入防止柵の例】

①電気柵



②ワイヤーメッシュ柵



### 【広域的な整備】

①集落を囲う柵



②山際に沿った柵



### 【生息環境管理の実施】

柵周辺の雑草の刈り払い

